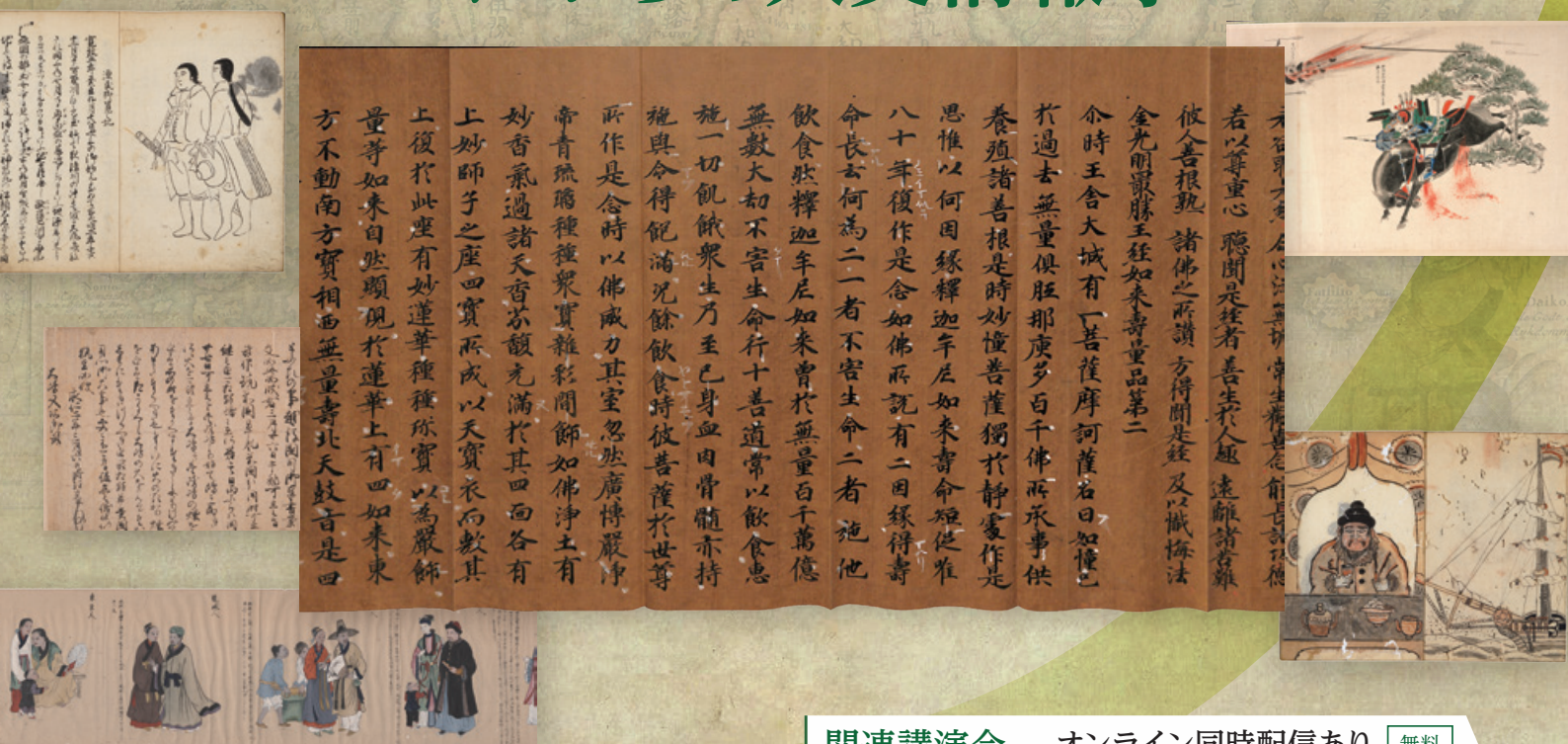


附属図書館所蔵「金光明最勝王経」重要文化財指定記念展示・講演会

デジタルで歴史をひらく ーこれからの人文情報学ー



展 示

入場無料

▶ 会期

令和7年11月1日(土)、4日(火)～14日(金)
※8日(土)、9日(日)除く

▶ 時間

11月1日(土) 11月4日(火)以降
13:00-17:00 10:00-17:00

▶ 会場

九州大学 伊都キャンパス 中央図書館

※「金光明最勝王経」は11/4以降は中央図書館横のフジギャラリーにて開催中の企画「九州大学100年の中国学研究」にて展示

関連講演会

オンライン同時配信あり

無料

▶ タイトル・講演者

「『前近代日本-アジア関係資料デジタルアーカイブ』が歴史をひらく(仮)」

荒木和憲 (九州大学人文科学研究院准教授)

「『金光明最勝王経』の魅力とその継承
ー九大図書館が守る平安のことばー」

蛭沼芽衣 (九州大学人文科学研究院助教)

▶ 日時

令和7年11月1日(土) 14:00-15:40

▶ 会場

九州大学 中央図書館4階 Sky Cute.Commons

▶ 申込方法 要申込(申込メ切10月30日(木))

附属図書館ウェブサイトから

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/form/202511seminar>



問い合わせ先

九州大学附属図書館利用者サービス課サービス企画係

〒819-0395 福岡市西区元岡744 E-mail:touservice@jimu.kyushu-u.ac.jp

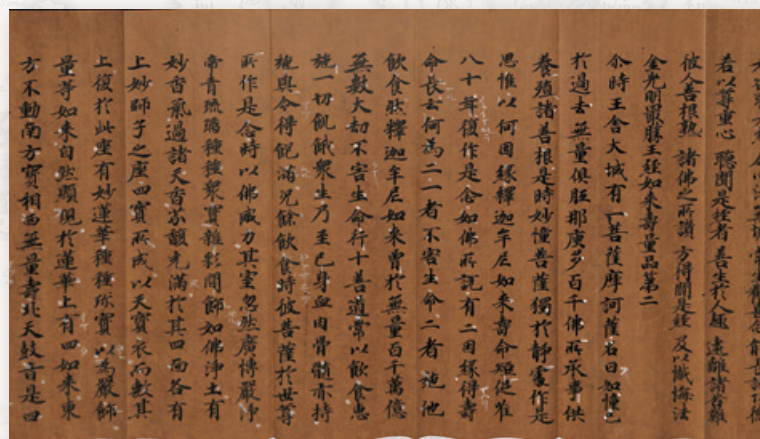
デジタルで歴史をひらくーこれからの人文情報学ー

九州大学附属図書館では、本学が所蔵する貴重資料等を毎年広く一般公開しています。今回は、附属図書館所蔵「金光明最勝王経（こんこうみょうさいしやうおうきやう）」が令和7年に新たに重要文化財に指定されることを記念し、同資料を一般公開します。

また、本学人文科学研究院が附属図書館との協働により構築した「前近代日本ーアジア関係資料デジタルアーカイブ」を取り上げ、「金光明最勝王経」や「蒙古襲来絵詞」等の貴重資料のデジタルデータを活用した、翻刻・現代語訳・解説との対照表示や、多角的な検索機能など、デジタルヒューマニティーズ（人文情報学）の手法を用いた歴史への多様なアプローチについて紹介するとともに、関連資料の展示を行います。

なお、11月1日（土）には、人文科学研究院の荒木和憲准教授と蛭沼芽衣助教による「前近代日本ーアジア関連資料デジタルアーカイブ」と「金光明最勝王経」に関する講演会を開催いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

金光明最勝王経



『金光明最勝王経』は護国の経典として知られ、聖武天皇はこの経典の教義に基づき、天平13(741)年に発布した国分寺建立の詔等、様々な仏教興隆政策を講じました。本学所蔵の『金光明最勝王経』は、石山寺に旧蔵されていた石山寺一切経の一部であり、本文は奈良朝の書写、訓点は平安中期～後期に加点されたものと推定されています。加点は、特に白墨が明瞭に残り、日本語史を知る上で非常に重要なものです。また、本学所蔵分は十巻全てが揃っており、完存するものは他に一例しかない点でも貴重です。

前近代日本ーアジア関係資料デジタルアーカイブ



本学の人文科学研究院と附属図書館が協働で構築したデジタルアーカイブです。九州大学が帝国大学時代から現在までに収集してきた学術的に価値の高い歴史資料のなかから、近代以前（19世紀後半まで）の日本とアジアとの交流、アジアの海を媒介とした世界との交流を示す資料の一部を紹介するもので、資料の画像とテキストが対照表示され、様々な角度から資料を検索できる点が特色です。

会場への交通アクセス



電車でお越しの方	西鉄バスでお越しの方
福岡空港	
6分 福岡市地下鉄 空港線	
博多駅	博多駅前A
5分 福岡市地下鉄 空港線	10分 西鉄バス 急行 九大伊都キャンパス行
天神駅	天神ソラリアステージ前(2B) または 天神北(3:7分タ前)
14分 福岡市地下鉄 空港線	40分 西鉄バス 急行 九大伊都キャンパス行
姪浜駅	
※唐津行、筑前原行は乗換不要	
10分 JR筑肥線	
九大学研都市駅	
15分 昭和バス	
九州大学伊都キャンパス ビッグオレンジ または 中央図書館	
3分 徒歩	
中央図書館	

※できるだけ公共交通機関をご利用ください。
※お車でのご来場の方は、守衛所にて附属図書館の展示会にいらした旨、お伝えください。

謝辞

本展示会の経費の一部は九州大学デジタル資料整備事業により皆様からご支援いただきました。心よりお礼を申し上げます。